

平成 27 年度 第 3 回理事会議事録

- ◇ 期 日 平成 28 年 4 月 24 日（日） 11:00～12:00
- ◇ 場 所 (株)開発工営社会議室
- ◇ 出席数 理事 25 名の内、出席 21 名、欠席 4 名
- ◇ 議 題

(1) 平成 27 年度事業報告について

- ・ 庶務担当理事から、前回の理事会以後に各委員会活動報告の変更がないとの報告があり、各委員会活動報告書の確認が行われた。

(2) 平成 27 年度決算報告について

- ・ 会計担当理事から、前回の理事会以後の動きを加え確定した決算の報告があった。前回の理事会では、単年度収支が 10 万円程度の黒字決算となる見通しが示されたが、最終的には 25 万円の黒字決算となったことが報告された。
- ・ 高等学校南北選手権大会テレビ放映の特別会計収支決算書について説明があった。
- ・ 会計監事から、会計監査報告があり会計処理が適性に行われていることが報告され、理事会として平成 27 年度の収支決算を評議員会に議案として提出することが承認された。

(3) 平成 28 年度事業予算について

- ・ 会計担当理事より、平成 28 年度事業予算案について資料に基づき説明があった。
- ・ 各新規事業については申請額の 50% 査定、継続事業については原則 10% 削減の予算査定としたが、単年度収支は 43 万円の赤字となるきわめて厳しい予算となった。本予算案を評議員会に提出することが承認された。
- ・ 春の招待試合東海大学対明治大学戦のチケットについては、これまで通り協会役員と加盟チームに割り当てをしている。招待試合の予算は収支ゼロとして計上しており是非とも黒字にしたい。協会役員と加盟チームは積極的な販売活動をしてほしい。

(4) 平成 28 年度事業計画について

- ・ 庶務担当理事から、各委員会の事業計画、事業計画日程について各委員会と最終確認が行われ、一部変更があったものを修正して、議案として評議員会に提出することが承認された。
- ・ 女子ラグビー大会として、(仮称) 第 1 回道新杯女子ラグビーフットボール選手権大会を 7 月 9 日のラグビーフェスティバルで実施することが承認された。
- ・ トップリーグ 2016-2017 については 9 月 4 日（日）にクボタスピアーズ対トヨタ自動車ヴェルブリッツ戦が月寒ラグビー場で開催することが報告された。

(5) 役員改選について

- ・ 庶務担当理事から、平成 28 年度に改選される支部選出理事、理事長、会長、副会長、会計監事の改選について確認があった。

- ・ 支部選出理事については、各支部から報告があった結果、胆振・札幌・富良野の3支部が改選することになり、7支部の理事は重任することになり評議員会へ提出することが承認された。
- ・ 理事長の改選を諮った結果、高嶋賢司理事長が選任され承認された。
- ・ 会長、副会長、会計監事については、理事長案として、植田健二会長、安田裕彦副会長、山之内裕昭・長谷部直樹両会計監事の重任が提案され評議員会に提出することが承認された。
- ・ 理事長指名理事でセーフティアシスタント委員長の林憲雄理事と普及育成委員長の白方久弘理事の退任の意向により、新理事としてセーフティアシスタント委員長に森和久氏、普及育成委員長に星敏幸氏の選任が提案され評議員会に提出することが承認された。
- ・ また、セーフティアシスタント委員会の名称を関東協会との整合をとり、メディカル委員会とすることが提案され評議員会に提出することが承認された。
- ・ 女子委員会の設立と特任理事の選出が提案され、女子委員長として石川孝雄氏を特任理事として評議員会に提出することが承認された。

(6) その他

<春の招待試合東海大学対明治大学戦について>

- ・ 有料試合事務局より、現在までの準備状況について報告があった。オープニングイベント及びメインゲームについては、ホームページに掲載されている通りであり詳しいことについては詰めている最中であることが報告された。なお、メインゲームについては、今年度は第5回関東大学春季大会も兼ねることが報告された。
- ・ 会計担当理事より、昨年は赤字となったが、今年は満席になるようにチケットの販売促進や協賛企業確保などを行っており、協会役員や加盟チームにおいてもチケットの販売促進の要請があった。
- ・ 札幌支部選出理事より、加盟チームによっては、チケットを送付してすぐに返却するチームがあることが問題となっており、今年度札幌支部ではチーム割り当て分チケットの返却はしないことを決めており、返却したチームがあればチーム名を支部に教えてほしいとの要請があった。

<平成 28 年度役員名簿の作成について>

- ・ 庶務担当理事より、平成 28 年度役員名簿の作成に当たって、各委員会に委員の名前・住所などの必要事項を取りまとめ 5 月 16 日（月）までに提出するよう要請があった。

<北広島市ラグビー協会設立について>

- ・ 札幌支部長より、北広島市ラグビー協会設立に関する対応について現在調整中であるとの中間報告があった。
- ・ 理事長より、日本協会では市町村ラグビー協会を設立し活発なラグビー活動をするを新しいミッションの一つとしており、北海道協会も地域活性化として推進していくことから、各支部においても地方自治体、体育協会などとの連携を深め活動の場を拡大するための協力をお願いしたいとの要請があった。

<RWC2019 情報>

- ・ RWC2019 担当理事より、RWC2019 に係る情報の説明があった。
- ・ ラグビーワールドカップリミテッドの試合会場視察が4月に行われ札幌ドームでも行われた。5月からは正式に公認チームキャンプ地の募集要項が発表された後にチームキャンプ候補地の視察を行う予定である。

<セレクションマッチ開催について>

- ・ セレクションコミッティー・強化委員長より、北海道代表候補（成人）セレクションマッチ開催について、各支部からの北海道代表候補選手の推薦について依頼があった。
- ・ セレクションマッチは5月15日に定山溪 BB ラグビー場で開催する。推薦の連絡は5月9日締め切りとなる。新しく成年となった選手の推薦とともに、女子の情報もあれば併せて連絡をするように依頼があった。

<国体女子ラグビーについて>

- ・ セレクションコミッティー・強化委員長より、第71回岩手国体から女子セブンズラグビーが正式競技となったことで、道内選手の育成強化とともに、全国で活躍している北海道出身選手を参加させるための交渉を行っていることが報告された。

<北海道選手権大会のグラウンドについて>

- ・ 競技委員長より、前回の理事会で報告した定山溪グラウンドがリオデジャネイロオリンピックに出場するセブンズラグビー女子日本代表の事前合宿があり、北海道選手権大会のグラウンドとしての使用が制限されること、及びその対応について以下の通り説明があった。
- ・ 小樽市望洋サッカー・ラグビー場の使用ができないことが判明した。
- ・ そこで、野幌グラウンドが1面しか使用できないことになっているが、野幌グラウンド管理者に事情を話して2面使わせてもらう交渉を行う。また、女子日本代表の練習に月寒ラグビー場を使用してもらう、などの検討をして行くとの報告があった。

<第28回八大学ラグビーOB親善大会について>

- ・ 親善大会は、帯広畜産大学、北海道大学、小樽商科大学の道内大学を含む8大学が持ち回りで幹事校として運営しており、今年度は帯広大会として帯広畜産大学OB会が幹事校として運営し7月17日に帯広畜産大学ラグビー場で開催することが報告された。
- ・ 帯広大会の運営については、十勝ラグビー協会へレフリー派遣などの協力要請があり承認された。

<RWC2019 ピンバッチ配布について>

- ・ 担当理事より、RWC2019 ピンバッチ及びチラシの北海道協会役員、競技登録者及び購入希望自治体への配布について、先に通知している内容の再確認があった。
- ・ 競技登録者への RWC2019 ピンバッチ及びチラシについては、支部ごとに仕分けしたものを今日持ち帰ってチームに配布してもらう。

- ・ 各委員会については、委員長がメンバー数について集計する。支部役員及び所属の市町村役員数については、所属する各支部の理事が集計する。それぞれ集計結果を連絡してもらいピンバッチを渡し、委員会及び支部で配布してもらう。
- ・ 購入希望自治体については、各支部が管内の自治体に希望を聞いて数量を決めて連絡をもらう。申込期限は4月25日とする。

<高校ラグビー北海道予選会決勝戦のテレビ放映について>

- ・ 小樽支部より、テレビ放映の今年度の計画について質問があった。また、実施内容を早期に決定して支部へ通知してもらいたいとの要望があった。
- ・ 高校委員長より、テレビ放映はこれからも継続して行っていきたい。また、昼間の放映を目標に継続して取り組む。
- ・ 実施内容については、高体連の方針などを考慮して早期に決定し、支部からの協力を頂けるようにして行きたい。

<胆振支部からのラグビーイベントの計画について>

- ・ 胆振支部理事より、苫小牧市スポーツ宣言都市50周年記念事業において、ラグビーイベントを開催することが報告された。
- ・ ラグビーイベントは、宗像サニックスブルースから日本代表のカーン・ヘスケス選手を含む3名を招聘して7月31日に、ラグビークリニック、ラグビー体験及びタグラグビー交流試合を計画している。
- ・ カーン・ヘスケス選手は苫小牧市との姉妹都市であるネイピア市出身であることから招聘を決めたとのことである。
- ・ 今後の具体的な対応は、苫小牧市総合政策部スポーツ推進室と苫小牧市ラグビーフットボール協会が中心となって進める。

以上